

震災

6月19日と20日に珠洲市で震度6弱、震度5強を記録する地震が発生しました。建物や道路などに大きな被害がでており、珠洲市と能登町においてもケガをされた方が数名確認されています。2018年頃から能登北部で増加している群発地震の関連が予想されますが、詳しいことは分かっていないようです。まずは被害に遭われた方々へお見舞い申し上げます。そして一日も早い復興を願うばかりです。

本町でも大きな揺れは感じましたが、今のところ被害は確認されていません。今回の地震で、能登半島地震を思い出した方も多いのではないのでしょうか。2007年3月25日、日曜日に発生した地震は本町においても大きな被害をもたらしました。

その日、私は職場の老人ホームで役員会の準備を終え、机に新聞を広げ眺めていました。突然の揺れに机にしがみつき、じっとすることができず、とても長く感じた瞬間でした。揺れが収まった後に施設内の入所者の安否確認を職員と共に行い、建物被害の確認、関係施設の情報収集を行いました。その後、出勤していたスタッフの中に自宅と連絡がつかず、不安を募らせていたので自宅に帰しました。私もようやく繋がった自宅への電話で母と話すことができました。様子を尋ねると、「全部飛んで、割れてしまったわ」となんとも情けない声でしたが、無事を確認できて少

しほつとしたことを記憶しています。夜、自宅へ帰ってから確認すると、食器棚から食器が出て、割れてしまったということと言いたかったようでした。

災害が起こる度に、人は防災意識が高まります。しかし、災害に遭遇しない期間が長く続くと段々とその意識も薄れてきます。「人間には忘却という不思議な能力が与えられています。狂おしいばかりのつらさも、後を追いたいぐらいの悲しさも、じっと我慢して歳月が過ぎるのを待てば、その傷は必ず癒されます」。これは瀬戸内寂聴さんの言葉です。

能登半島地震から15年。つらく、悲しい気持ちは癒やされても、決して忘れてはいけな
い災害への備え、家族や自分の身を守る意識は決して忘れてはいけません。

Mayor Column Vol.4



筆 おもむくまに

穴水町長 吉村 光輝

町長コラム